

所得申告に必要な要介護認定者の各種控除証明書の交付

おむつ代医療費控除確認書

対象 2年目以降のおむつ代の医療費控除を受けようとする人

※尿失禁があっても、介護認定の主治医意見書に記載がない、または寝たきり度が基準に満たないときは交付できません。

障害者控除対象者認定書

認定書を申告の際に提示すると、障害者控除の適用を受けられます。

対象 次の全ての要件を満たす人

▶満65歳以上で、介護保険の要介護または要支援認定を受けている人

▶介護保険の認定調査票や主治医意見書で、日常生活自立度の判定が一定基準以上の人

▶身体障害者手帳などを持っていない人

※要介護・要支援認定を受けている人でも対象にならない場合があります。

申請方法 介護保険被保険者証または要介護認定・要支援認定等結果通知書をお持ちの上、長寿福祉課に申請してください。

その他 証明書の交付には数日掛かります。

☎長寿福祉課☎(88)8117

市第8次高齢者福祉計画・市第7期介護保険事業計画の意見募集

高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けるために、市が策定する計画です。

計画の素案に対して皆さんの意見を募集します。

閲覧・募集期間 1月17日(水)～31日(水)

※土・日曜日を除く

閲覧時間 午前8時30分～午後5時15分

閲覧場所 ●長寿福祉課 ●各公民館 ●長沼・岩瀬各市民サービスセンター ●コミュニティプラザ

提出方法 市ホームページまたは閲覧場所に備え付けの様式に、住所・氏名・連絡先を記入の上、1月31日(水)までに次のいずれかの方法で提出してください。

▶閲覧場所に持参

▶郵送 〒962-8601(住所記載不要)市役所長寿福祉課宛

▶FAX (88)8119

▶メール chouju@city.sukagawa.fukushima.jp

☎長寿福祉課☎(88)8117

市敬老祝商品券と温泉利用券のご利用を!

75歳以上(平成29年9月15日現在)の人にお贈りした敬老祝商品券の有効期限が近づいています。取扱加盟店は、同封した一覧表または市ホームページをご覧ください。

敬老祝品の温泉利用券は、同行のご家族も利用できますので、期限内にお使いください。

有効期限

▶敬老祝商品券 1月31日(水)

▶温泉利用券 8月31日(金)

☎長寿福祉課☎(88)8116

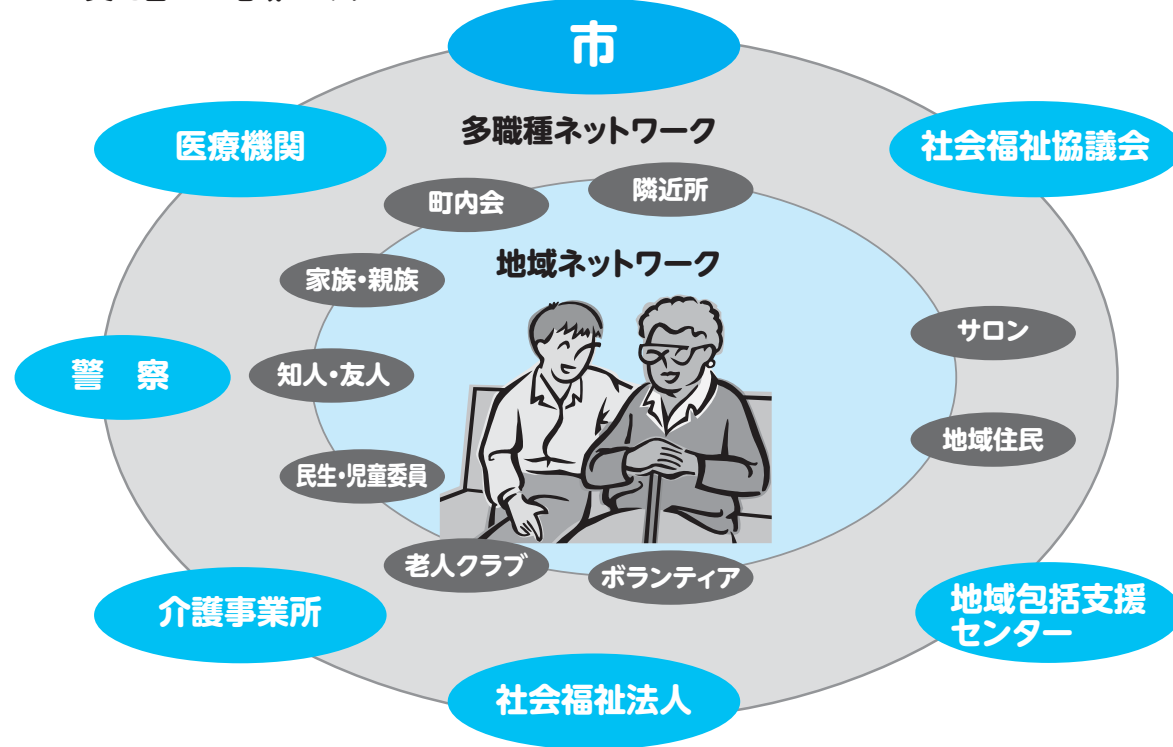


■地域包括ケアシステムの仕組みづくり

高齢者を支え

～高齢になっても住み慣れた

●支え合いの地域づくり



超高齢社会には支え合いが必要

困っている人がいれば助けをあげる、一人では難しいことを助けてもらう、というお互い様の関係が「支え合い」です。地域によっては古くから「支え合い」がある地域もありますが、日常生活に不安を抱える一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯などは、同じ地域に住む人たちのちょっとした心遣いや見守りで、安心して暮らし続けることができます。

誰もが住みやすい地域を目指して

本市の65歳以上の高齢者(平成29年12月1日現在)の割合は26%を超え、今後増えていくことが予想されます。市では、これからも「地域支え合い推進会議」などを通し、地域の皆さんと関係機関などが連携して高齢者の暮らしを支える地域包括ケアシステムの仕組みづくりに取り組んでいきます。



合う地域をつくらう

地域で暮らし続けるために～

長寿福祉課☎(94)2162

高齢者の皆さんの暮らしを地域住民や関係機関などが連携して支える「地域包括ケアシステム」。その一環として、市では高齢者を支え合う「地域支え合い推進会議」を市内10か所に設置し、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいます。



地域支え合い推進会議(平成29年10月16日・西袋地区)

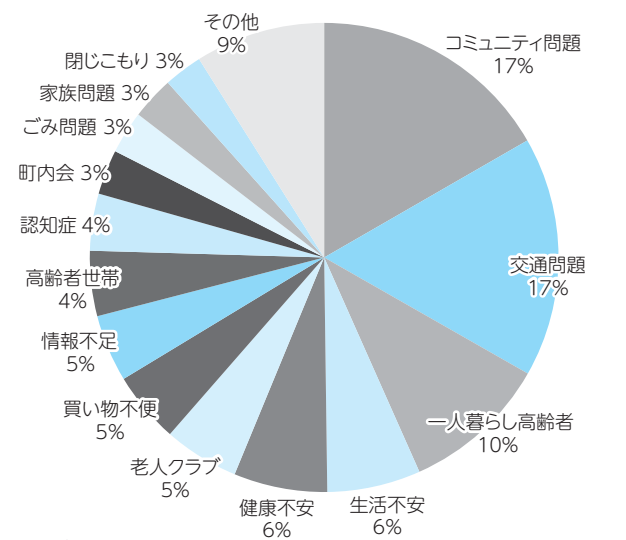
第1回地域支え合い推進会議を開催

市では、地域支え合い推進員、須賀川市社会福祉協議会、地域包括支援センターと協力して、昨年10月に地域支え合い推進会議を市内10か所で開催しました。

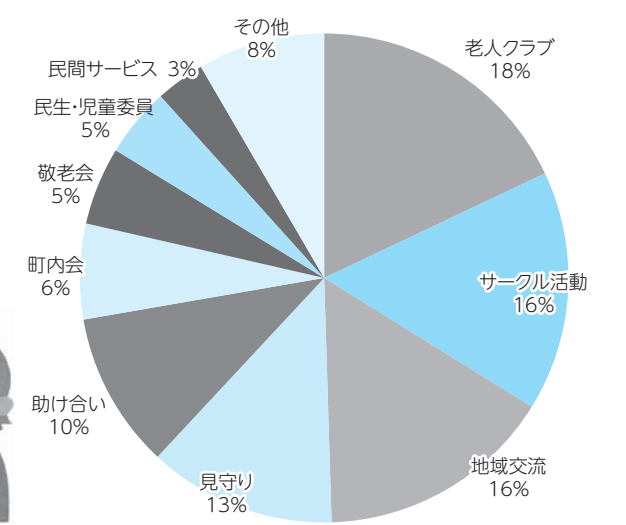
会議には、町内会・区長、民生・児童委員、老人クラブ役員、健康づくり推進員、食生活改善推進員の皆さんが出席。グループに分かれて、「地域で生活する高齢者が抱える課題」や、「地域の高齢者を支える団体や個人の活動」について話し合い、自分たちの地域の現状を情報共有しました。

見えてきた課題

●グラフ1 地域で生活する高齢者が抱える課題



●グラフ2 地域の高齢者を支える団体や個人の活動



「地域で生活する高齢者が抱える課題」の結果は、グラフ1のとおりです。参加者からは「一人暮らし高齢者が増えている」「息子や娘たちが遠方に住んでいて日常の面倒を見る人がいない」「ごみ捨てが困難」「体調が悪くなったときに救急車を呼べるか心配という高齢者がいる」などの情報が寄せられ、日常生活に不安を感じている高齢者が増えていることが伺えました。また、会議を地域ごとに開催することで、交通問題や買い物不便など、各地域で抱える課題の特徴も見えてきました。

地域には高齢者を支える人たちも

「地域の高齢者を支える団体や個人の活動」の結果は、グラフ2のとおりです。取り組みの一部を紹介します。▼新聞がたまっていないか、

- ▼雪かきをしている。
- ▼ごみ出しや洗濯をしている。
- ▼車がない人の買い物の支援や病院の送迎を行っている。
- ▼認知症の人が一人で歩いているときの見守りと家族への連絡をしている。
- ▼植木のせん定をしている。